

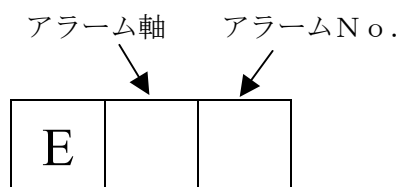
7. アラーム

アラームには、MA I Nアラームと、各軸アラームがあります。

アラーム発生時には、状態をよく観察し原因を除去した後、復帰操作を行ってください。

アラーム発生時には、アラーム出力<ALM>が ON し、レディ出力<RDY>が OFF します。

本体前面の「CODE」表示部に、数値でコントローラの状態を表示します。



■ ■ 7.1 アラームの内容 ■ ■

7.1.1 MA I Nアラーム

アラーム軸が 0 の場合、MA I Nアラームです。

MA I Nアラームは、下表のような内容で発生します。

「リセット」の項目に「可」のアラームは、リセット<RES>により復帰が行えます。

「原点復帰」の項目に「要」のアラームはアラームからの復帰後、原点復帰が必要ですが、「不要」のアラームは、原点復帰は必要ありません。

アラーム表示	エラー	内容	リセット	原点復帰
E01	1軸内部接続エラー	電源投入時、各軸からの信号が入力されなかった場合、軸未接続と判定し、エラーが発生します。	不可	—
E02	2軸内部接続エラー			
E03	3軸内部接続エラー			
E04	4軸内部接続エラー			
E05	移動量設定エラー	設定された移動位置が、ストローク長よりも大きい場合に発生します。 移動方法設定を「現在値を基準」に設定し、0より小さい場合または、ストローク長より大きい場合に発生します。	可	不要
E06	速度設定エラー	速度設定が設定可能範囲でない場合。	可	不要
E07	加減速設定エラー	加減速が10～2000の範囲でない場合。	可	不要
E08	数値設定エラー	データの設定値が正しくない箇所がある場合。	可	不要

E09	未使用			
E0A	通信エラー	コマンド、数値、データ長、オーバーラン、パリティ、フレーミングなどの通信エラー。	可	不要
E0b	未使用			
E0C	未使用			
E0d	プログラムエラー	指定のプログラムのデータに正しくない箇所がある場合に発生します。	可	不要
E0E	EEPROM書き込みエラー	位置データやパラメータの書き込みを行った際、書き込みできなかつたり、照合エラーが起こった場合に発生します。	不可	—
E0F	非常停止	スイッチボックスの非常停止が ON した場合。	可	要

7. 1. 2 各軸アラーム

アラーム軸が 1～4 の場合、X、Y、Z、S 軸のいずれかの軸でエラーが発生しています。表示に対するエラー内容を下表に示します。

(注) 表は、X 軸アラームの場合です。

Y 軸目エラーの場合は **E2□**。 Z 軸は **E3□**。 S 軸は **E4□**。 と表示します。

アラーム表示	エラー	内容	リセット	原点復帰
E11.	内部通信エラー	コントローラ内部の通信エラーで発生します。	不可	—
E12.	原点 LS ON エラー	位置決め動作後、原点 LS が ON した場合に発生します。 (動作異常と判定)	可	要
E13.	原点復帰エラー	原点復帰動作にて、原点 LS が一定のパルス数を出力しても ON しない場合、または ON から OFF しない場合に発生します。 原点 LS の故障、配線の断線などが考えられます。	可	要

E14.	偏差オーバーエラー	動作指令と、現在位置を比較して、その差が設定値以上になった時にアラームとなります。	可	要
E15.	移動指令値設定エラー	位置データに設定された移動位置がストローク長よりも大きい場合に発生します。 移動方法設定を「現在値を基準」に設定し、0より小さいまたは、ストローク長より大きい場合に発生します。	可	要
E16.	速度設定エラー	速度設定が設定可能範囲でない場合に発生。	可	不要
E17.	加速度設定エラー	加減速が 10～2000 の範囲でない場合に発生。	可	不要
E18.	数値設定エラー	データの設定値が正しくない箇所がある場合。	可	不要

アラームの復帰方法

アラームの復帰は、スイッチボックスの操作で行ないます。

① アラーム No. E O F <非常停止>

非常停止ランプ点灯

非常停止スイッチを右回しで解除します ⇒ リセットランプ点灯

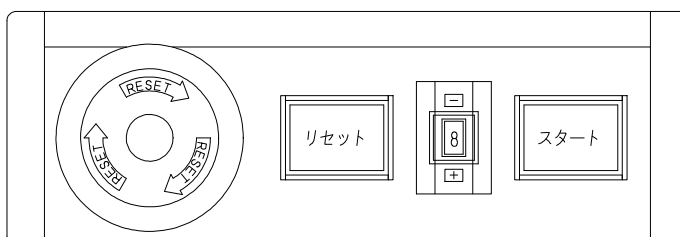
リセットスイッチをON ⇒ 非常停止ランプ消灯 ⇒ リセットランプ消灯

■ 復帰した状態は、電源投入時と同じ状態です。

② 非常停止以外のアラーム

非常停止ランプ点灯、リセットランプ点灯

リセットスイッチをON ⇒ 非常停止ランプ消灯 ⇒ リセットランプ消灯



■ ■ 7. 2 トラブルシューティング ■ ■

1. MAINアラーム

症状	アラーム No. 1～4：内部接続エラーが発生する。
対処	コントローラ内部エラーです。 電源を再投入してください。 変化なし → 弊社へご連絡ください

症状	アラーム No. 5：移動量設定エラーが発生する。
対処	設定値が使用機種のスโตรークを超えていないかご確認ください。 移動方法設定を「現在値を基準」に設定している場合、 0より小さいまたは、スโตรーク長より大きい位置になっていないか ご確認ください。

症状	アラーム No. 6：速度設定エラーが発生する。
対処	速度設定値が使用機種の最大速度を超えていないかご確認ください。

症状	アラーム No. 8：加速度設定エラーが発生する。
対処	加速度設定値が 10～2000 の範囲内かご確認ください。

症状	アラーム No. A：通信エラーが発生する。
対処	パソコンソフトをご使用の場合でエラーが発生する場合は、コントローラ 内部エラーです。 → 弊社へご連絡ください。 通信プロトコルをご使用の場合は、仕様が合っていないことが考えられ ますので、通信プロトコル仕様をご確認ください。

症状	アラーム No. D : プログラムエラーが発生する。
対処	指定したプログラムのデータが正しくない場合に発生します。 指定したプログラムをご確認ください。

症状	アラーム No. E : E E P R O Mエラーが発生する。
対処	コントローラ内部エラーです。 電源を再投入してください。 変化なし → 弊社へご連絡ください

2. 各軸アラーム

症状	アラーム No. 1 : 内部通信エラーが発生する。
対処	コントローラ内部エラーです。 電源を再投入してください。 変化なし → 弊社へご連絡ください

症状	アラーム No. 2 : 移動完了時 L S O Nエラーが発生する。
対処	動作中に原点 L S が O N しました。 干渉物がないか、アクチュエータの摺動抵抗が大きくなっていないかをご確認ください。

症状	アラーム No. 3 : 原点復帰エラーが発生する。
対処	原点 L S が O N しないか、O N したままの状態です。 パソコンソフトの I / O チェックで原点 L S の状態をご確認ください。 1) 原点 L S が O N しない場合 ・モータケーブルの断線 ・アクチュエータ内の断線 ・原点 L S の故障 2) 原点 L S が O N したままの場合 ・原点 L S の故障 ・コントローラ故障

症状	アラーム No. 4 : 偏差オーバーエラーが発生する。
対処	位置決め動作中に、押付け動作（ワークに衝突）した場合は、偏差オーバーエラーとなります。 位置データの設定値をご確認ください。 また、機械的に干渉しているところはないかをご確認ください。

3. 指定の位置に正確に位置決め出来ない。

原因 1	ベルトがすべっている可能性があります。
対処	ベルトの緩みやたわみがないか確認してください。 → 4. 4 保守・点検の方法 を参照ください。
原因 2	コントローラがノイズの影響を受けている可能性があります。
対処	ノイズの発生元から、ノイズを発生しないように処置してください。 接地線の処理を確認してください。 3. 5. 2 (2) を参照ください。
原因 3	コントローラに電源が入っていますか。CODE 表示が点灯していますか？
対処	電源はAC100Vです。 AC100Vが入力されている場合は、ヒューズが切れている可能性がありますので、電源を抜いてから、ヒューズを確認ください。 ヒューズが切れていない場合は内部の電源回路が故障の可能性があります。 → 弊社へご連絡ください
原因 4	電源投入時、非常停止ランプが点灯していませんか？
対処	CODE 表示の内容を確認してください。